

プログラム 2月26日(金) 第1日目

A 会場

開会の辞

9:15 ~ 9:20

宮城県立こども病院 循環器科
田中 高志

里見賞候補演題 (9 演題)

9:20 ~ 10:50

座長：堀米 仁志 (筑波大学 小児科)
松岡 隆 (昭和大学 産婦人科)

S-1：地方の一施設における里帰り妊婦の胎児心エコースクリーニングについて

佐藤 工 (国立病院機構弘前病院 小児科)

S-2：日本における胎児心臓超音波検査の現状と課題

松井 彦郎 (東京大学医学部 小児科)

S-3：上心臓型総肺静脈還流異常症 (Darling 分類 Ia) の垂直静脈走行と生後の臨床経過

杉谷 雄一郎 (地域医療機能推進機構 九州病院 小児科)

S-4：胎児胎盤循環におけるナトリウム利尿ペプチドの代謝

三好 剛一 (国立循環器病研究センター再生医療部)

S-5：重複大動脈弓は RAngle が急峻となる

森 雅啓 (大阪母子医療センター 小児循環器科)

S-6：単心室房室弁逆流の重症度予測における、胎児期 tenting height の有用性

鈴木 康太 (静岡県立こども病院 循環器科)

S-7：総肺静脈還流異常における肺静脈パターンの特徴の検討

丸山 和歌子 (大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児循環器内科)

S-8：妊娠 12-20 週胎児心筋における 24 分割 Sphericity index(SI) と Fractional shortening(FS)

町田めぐみ (クリフム PMC 胎児診断センター, 胎児脳センター)

S-9：胎児期から倫理的場面向き合った超重症心疾患児とその家族に対する支援

～ 児と家族にとって意味ある胎児診断とするには

権守 礼美 (榊原記念病院 看護部管理室)

ミニパネル①

11:00 ~ 12:00

TAPVC,PVO (4 題)

座長：松本 淳 (岩手医科大学 小児科)
羽場 巖 (岩手医科大学 産婦人科)

M1-1：胎児期から観察し得た Common pulmonary vein atresia の臨床経過

藤井 隆成 (昭和大学病院 小児循環器・成人先天性心疾患センター)

M1-2：胎児期に肺静脈狭窄合併の右側相同心を疑われた児の予後に関する検討

鈴木 康太（静岡県立こども病院 循環器科）

M1-3：当院における総肺静脈還流異常症 2 症例の経験

品川 征大（済生会下関総合病院 産婦人科）

M1-4：診断に苦慮した右側相同心における総肺静脈還流異常の一例

中本 富士子（国立循環器病研究センター 臨床検査部）

ランチョンセミナー①

12:00 ~ 13:00

「家族支援につながりうる胎児超音波検査

—両親の目に見えない不安を少しでも緩和するために—

座長：羽場 巖（岩手医科大学 産婦人科）

講師：松本 敦（岩手医科大学 小児科）

共催：GEヘルスケアジャパン

総会

13:00 ~ 14:00

委員会報告

「レベルⅡ胎児心臓超音波検査 オンライン多施設間全国登録について」

瀧間 浄宏（日本胎児心臓病学会 総務委員会，長野県立こども病院 循環器小児科）

特別講演①

14:00 ~ 15:00

「東日本大震災の教訓：被災地の拠点病院として」

座長：田中 高志（宮城県立こども病院 循環器科）

講師：飯沼 一字（石巻赤十字病院名誉院長・東北大学名誉教授）

パネルディスカッション

15:00 ~ 17:50

「多職種連携によるブレイクスルー —検査技師による胎児心エコースクリーニング—」

モデレーター：川瀧 元良（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

大村 真紀（スズキ記念病院 医療技術部）

P-1：CHD胎児診断率の飛躍をめざして；一次医療分娩施設のCHDスクリーニング体制から

大村 真紀（スズキ記念病院 医療技術部）

P-2：当院の検査技師による胎児心臓スクリーニングの歩みと成果

吉田 英美（医療法人 竹村医学研究会（財団）小阪産病院）

P-3：当院検査部における胎児スクリーニングシステム導入後の報告（続報）

山内 一浩（市立豊中病院 臨床検査部）

- P-4：当院における新たな胎児心臓スクリーニング検査法の妥当性について
登尾 薫（神戸市立西神戸医療センター 臨床検査技術部）
- P-5：大学病院における超音波技師による胎児心臓スクリーニング検査
石井久美子（千葉大学医学部附属病院 周産期母性科）
- P-6：高次医療施設での検査技師の役割と課題
古賀 恭子（福岡市立こども病院 胎児循環器科）
- P-7：アンケートフォームを利用した多職種による胎児心エコー意識調査の報告
長澤 智子（三井病院 超音波検査室）
- P-8：青森市における胎児超音波の医療連携（7年間の実績）
橋本 哲司（青森市民病院 産婦人科）
- P-9：出張「産科超音検査技師」の活用で目指す働き方改革
佐藤 静香（レディスクリニック フォレストヴェルデ）
- P-10：フリー スクリーナーという働き方
田口 知里（産婦人科 菅原病院 超音波検査室）

里見賞授賞式

17:50～18:00

B 会場

一般演題①

9:20 ~ 10:10

エプスタイン病など (5 題)

座長：阿部 忠朗 (新潟大学 小児科)

五日市 美奈 (新潟大学 産婦人科)

B1-1：胎児期に高度の右房拡大を呈したが、出生後に二心室循環が成立した Ebstein 奇形 3 例の検討

池川 健 (神奈川県立こども医療センター)

B1-2：胎児期に動脈管血流が順行性から逆行性となった critical PS の一例

徳中 真由美 (昭和大学医学部 産婦人科)

B1-3：心室中隔欠損症による circular shunt をきたした胎児 Ebstein 奇形：胎児期血行動態の経時的変化

富野 広通 (国立病院機構佐賀病院 小児科)

B1-4：胎児心エコーで診断された孤立性右室低形成 (IRVH) の一例

藤崎 拓也 (大阪母子医療センター 小児循環器科)

B1-5：右室負荷を伴う胎児心疾患における心室中隔運動の評価

秋葉 洋平 (さいたま市立病院 産婦人科)

一般演題②

10:20 ~ 11:20

心筋症など (6 題)

座長：佐々木 理 (天使病院 小児科)

鈴木 久也 (仙台赤十字病院 産婦人科)

B2-1：重症心疾患胎児に対してダブルセットアップにて出生計画を行った 4 症例

寺澤 厚志 (岐阜県総合医療センター 小児循環器内科)

B2-2：左心系の重度弁逆流による心不全にて胎児水腫となり死亡した 2 例の病理・遺伝学的考察

齋藤 和由 (藤田医科大学 小児科)

B2-3：心筋緻密化障害 3 症例の検討

吉井 公浩 (中京病院 中京こどもハートセンター 小児循環器科)

B2-4：胎児ミトコンドリア心筋症の 2 例

石井 徹子 (千葉県立こども病院 循環器内科)

B2-5：低酸素を伴わない胎児心拍数異常が示唆された胎児三尖弁閉鎖症の 1 症例

中尾 真大 (榊原記念病院)

B2-6：妊娠後期に超音波検査を契機に胎児特発性肺低形成の診断に至った一例

市川 麻祐子 (奈良県立医科大学 産婦人科)

一般演題③

11:30 ~ 12:00

不整脈 (3 題)

座長：佐藤 工 (国立病院機構弘前病院 小児科)

金川 武司 (大阪母子医療センター 産科)

B3-1: Trium[®] を用いた胎児心臓病別の分娩時における胎児心拍モニタリングレベル分類と short term variability の検討

前田 佳紀 (榊原記念病院)

B3-2: 当院における胎児不整脈診療の現況

横山 岳彦 (名古屋第二赤十字病院 小児科)

B3-3: ソタロール経母体投与による胎児治療が有効であった胎児多源性心房頻拍の 1 例

漢 伸彦 (福岡市立こども病院)

一般演題④

15:00 ~ 15:50

HLHS など (5 題)

座長：桃井 伸緒 (福島県立医科大学 小児科)

安田 俊 (福島県立医科大学 産婦人科)

B4-1: 非典型的な狭小心房間交通を有した左心低形成症候群の胎児心エコー所見

岡 健介 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児科)

B4-2: 異常構造物によって機能的動脈弁閉鎖となった左心低形成症候群の 1 例

吉井 公浩 (中京病院 中京こどもハートセンター 小児循環器科)

B4-3: 「重症動脈弁狭窄症に対する胎児治療の早期安全性試験」の初期報告

小澤 克典 (国立成育医療研究センター 胎児診療科)

B4-4: 当院における先天性横隔膜ヘルニアの胎児期の左心室の大きさと重症度の検討

中村 香絵 (大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児循環器内科)

B4-5: 動脈管早期収縮をきたした完全型房室中隔欠損症を伴う静脈管欠損の 1 例

國松 将也 (千葉大学大学院 小児病態学)

一般演題⑤

16:00 ~ 17:00

心機能 (6 題)

座長：田澤 星一 (仙台赤十字病院 小児科)

月原 悟 (総合山口赤十字病院 産婦人科)

B5-1: 高拍出性心不全を呈した胎児巨大肝血管腫における心循環機能モニタリング

林 彩世 (国立成育医療研究センター 産科)

B5-2: Sphericity Index による胎児完全房室ブロックの心機能評価

小木田 勇人 (岩手医科大学 産婦人科)

B5-3：妊娠糖尿病児における胎児新生児期の心機能について

岩島 覚（中東遠総合医療センター 小児循環器科）

B5-4：ストレインデータを用いた胎児心四腔の動作解析

精 きぐな（順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科）

B5-5：心拡大を契機に胎児期から疑ったオスラー病の1例

北代 祐三（福岡市立こども病院 産科・胎児循環器科）

B5-6：胎児心 longitudinal global strain/ strain rate の計測可能性と有用性

宮下 進（獨協医科大学病院 総合周産期母子医療センター）

プログラム 2月27日(土) 第2日目

A 会場

ミニパネル②

9:10 ~ 10:00

CoA (3 題)

座長：金 基成 (神奈川県立こども医療センター 循環器内科)
正岡 博 (正岡病院 理事長)

M2-1: 大動脈縮窄症の胎児診断における当院の現状と課題

田丸 俊輔 (埼玉医科大学病院 産婦人科)

M2-2: 大動脈縮窄症胎児診断説明時の問題点

馬場 健児 (岡山大学病院 小児循環器)

M2-3: 胎児心エコーによる大動脈縮窄症に対する胎児診断法の検討

中村 友香 (国立循環器病研究センター 臨床検査部)

ミニパネル③

10:00 ~ 11:00

心機能 (4 題)

座長：瀧間 浄宏 (長野県立こども病院 循環器小児科)
小澤 克典 (国立成育医療研究センター 胎児診療科)

M3-1: 胎児エプスタイン奇形における左室長軸方向ストレインの変化

林 泰佑 (国立成育医療研究センター 循環器科)

M3-2: 胎児発育不全における右冠動脈遠位部血流シグナル検出とその臨床的意義

宮下 進 (獨協医科大学病院 総合周産期母子医療センター産科部門)

M3-3: 双胎間輸血症候群の胎児治療における拡張早期心室内圧較差の推移

正岡 駿 (順天堂大学 産婦人科)

M3-4: Dual gate Doppler 法を用いた在胎 18 週から 36 週までの経時的な心機能変化について

寺町 陽三 (久留米大学 小児科)

ミニパネル④

11:00 ~ 12:00

スクリーニング (4 題)

座長：竹田津 未生 (北海道療育園 診療部診療科長)
室月 淳 (宮城県立こども病院 産科)

M4-1: 胎児期に mesocardia と診断した 9 症例の検討 (25/40)

田中 雄也 (慶応技術大学 医学部 産婦人科)

M4-2: 在胎 22 週未満に出生前診断された先天性心疾患と人工妊娠中絶の関連の検討

松井 彦郎 (東京大学医学部 小児科)

M4-3：胎児スクリーニングの普及を目指した北日本胎児遠隔セミナーの報告

長澤 智子（三井病院 超音波検査室）

M4-4：13,18,21 トリソミーにおける先天性心疾患の出生前診断の臨床的特徴

井之上 侑加（大阪母子医療センター 臨床検査部門）

ランチオンセミナー②

12:00～13:00

「胎児心電モニタリングの最近の話題と今後の展開」

座長：齋藤 昌利（東北大学 産婦人科）

演者：木村 芳孝（みやぎ県南中核病院 副院長 産婦人科）

（共催：アトムメディカル株式会社）

ミニパネル⑤

13:00～14:00

不整脈（4題）

座長：前野 泰樹（聖マリア病院 新生児科）

山本 祐華（順天堂大学 産婦人科）

M5-1：Dual Gate Doppler を用いた肝静脈 - 下行大動脈血流波形による胎児不整脈評価について

加地 剛（徳島大学病院 産婦人科）

M5-2：母体塩酸リトドリン投与中止後に停止した胎児上室性頻拍の1例

村上 卓（筑波大学医学医療系 小児科）

M5-3：胎児腹水・心室拡張障害・上室頻拍を来し、出生後に先天性接合部頻拍と診断した1例

林 知宏（倉敷中央病院 小児科）

M5-4：完全房室ブロックにより早期に胎児水腫を来たし、娩出時期の決定に苦慮した一例

浅見 雄司（群馬県立小児医療センター 循環器科）

特別講演②

14:00～15:00

「地域医療情報ネットワークの価値と可能性～長崎県 @ あじさいネットの取り組み～」

座長：川瀧 元良（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

講師：松本 武浩（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学講座 医療情報学 准教授）

教育セミナー

15:00～17:30

テーマ：エプスタイン病

座長：前野 泰樹（聖マリア病院 新生児科）

講師：渋谷 和彦（東京都立府中療育センター（東京都立多摩総合 / 小児総合医療センター兼務））

川瀧 元良（神奈川県立こども医療センター 新生児科）

石井 陽一郎（大阪母子医療センター 小児循環器科）

稲村 昇（近畿大学病院 小児科）

B 会場

一般演題⑥

9:30 ~ 10:20

スクリーニング (5 題)

座長：岡崎 三枝子 (秋田大学 小児科)
小野寺 洋平 (秋田大学 産婦人科)

B6-1：クリニックでスクリーニングされた単独の TAPVC の一例

的野 博 (的野ウィメンズクリニック)

B6-2：心外膜外側に拍動性病変を認め冠動脈走行異常との鑑別を要した心嚢水貯留の一例

福村 史哲 (京都大学医学部附属病院 小児科)

B6-3：胎児卵円孔狭窄自験例の胎児心エコー所見と出生後の調査

廣田 篤史 (国立循環器病研究センター 新生児科)

B6-4：胎児期に三尖弁異形成と診断され、生後早期に左室収縮不全が進行した一症例

岡田 陽子 (国立循環器病研究センター 小児循環器科)

B6-5：抗 SS-A 抗体陽性妊婦における房室伝導時間 (AV 時間) スクリーニングの検討

松原 弥生 (ふじたクリニック)

一般演題⑦

10:30 ~ 11:20

その他 (5 題)

座長：佐々木 大輔 (北海道大学 小児科)
箱山 聖子 (市立札幌病院 産婦人科)

B7-1：心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖に D 型大血管転位を合併した胎児診断例

鈴木 康太 (静岡県立こども病院 循環器科)

B7-2：動脈管の診断に苦慮した肺動脈閉鎖兼心室中隔欠損の 1 症例

日根 幸太郎 (東邦大学医療センター大森病院 新生児科)

B7-3：胎児診断により外科治療まで管理し得た多発性巨大 Valsalva 洞動脈瘤の 1 例

永峯 宏樹 (東京都立小児総合医療センター 循環器科)

B7-4：妊娠 16 週に発症した胎児心臓血管腫の 1 例

京谷 琢治 (群馬県立小児医療センター 産科)

B7-5：muscular outlet VSD を合併した partial AVSD の胎児診断例

百木 恒太 (埼玉県立小児医療センター 循環器科)

家族支援委員会

12:00 ~ 13:00

家族支援

13:00 ~ 14:00

一般演題 (4 題)

座 長：高木 紀美代 (長野県立こども病院 産科)
吉田 佳織 (大阪母子医療センター 看護部)

F-1：先天性心疾患の胎児診断例における心理士の連続的支援の意義

福江 めぐみ (大阪母子医療センター リハ・育療支援部門)

F-2：先天性心疾患と胎児診断された双胎児の家族への支援内容の検討

石井 美里 (北海道大学病院 5の1 ナースステーション)

F-3：染色体異常，多発奇形，左心低形成症候群児をもった母親への胎児期からの臨床心理士による心理面談

満下 紀恵 (静岡県立こども病院 循環器科)

F-4：妊娠 22 週前に胎児心疾患の診断を受けた家族の妊娠継続に関する意思決定への影響要素

権守 礼美 (榊原記念病院 看護部管理室)

家族支援特別講演

14:00 ~ 15:00

「バッドニュースを如何に患者さんと共有するか - 心理士の立場から -」

講 師：別所 晶子 (埼玉医科大学総合医療センター 小児科)

家族支援

15:00 ~ 17:20

企画テーマセッション

「誰のための胎児診断か - 治療困難が予想される症例への説明 -」

司 会：石戸 博隆
(埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 小児循環器部門)

第27回胎児心臓病学会 遠隔クラウドSTICセミナー

第27回胎児心臓病学会にご参加いただき、ありがとうございます。

コロナ下の開催となり、行き届かない点多々あるかと思いますが、第27回胎児心臓病学会が参加者にとって有益な情報交換の場になるよう鋭意準備を進めております。

今回、サテライト企画として、STICセミナーを計画しました。通常の学会では、症例を見たり聞いたりすることはできますが、実際の心疾患症例の胎児心エコーを体験することは不可能です。STICセミナーでは、実際の心疾患症例のSTIC dataを使って、PC上でマウスを操作することにより胎児心エコーを疑似体験することが可能です。さらに、これまでのSTICセミナーと違って、自分がいつも使っているPCをインターネット回線を介してクラウドに接続することで、いつでもどこからでもSTICセミナーに参加が可能になりました。

学会2日目と学会の翌日の2日間にわたり、二つのテーマでSTICセミナーを企画しました

1日目のテーマは、三尖弁逆流(TR)をきたす心疾患です。今学会の教育講演のテーマに合わせて様々な重症度のEbstein病を経験していただきます。また、PA/PS IVS, 動脈管早期閉鎖などTRをきたす他の心疾患も併せて経験していただきます。

2日目のテーマは、完全大血管転位(TGA)です。I型、II型、III型のTGA,卵円孔/動脈管狭窄を伴うハイリスク症例、TGAタイプのDORVなどTGAのすべてを経験していただきます。

胎児心エコー初心者の方にとって、典型的な症例を体験し、病気を理解するチャンスです。経験者にとっても、経験値を高め、胎児診断の技術と知識を習得する、またとないチャンスです。是非、ご参加ください。

神奈川県立こども医療センター新生児科 川瀧 元良

参加費

- 2021年2月27日(土) : 5,000円 (定員 : 40名)
- 2021年2月28日(日) : 5,000円 (定員 : 40名)

開催数日前に事前準備の作業がございます。



プログラム

2021年2月27(土)	TRをきたす心疾患 (Ebstein病、PA/PS IVS, 動脈管早期閉鎖)
8:00- 9:00	川瀧講義 1
9:00-17:30	自主学习
17:30-18:30	川瀧講義 2

2021年2月28(日)	TGAのすべて
8:00- 9:00	川瀧講義 3
9:00-17:30	自主学习
17:30-18:30	川瀧講義 4

企画

神奈川県立こども医療センター 新生児科 川瀧元良
宮城こども病院 循環器科 田中高志

お問合せ

株式会社未来 〒104-0045 東京都中央区築地4-4-14 ラフィネ東銀座707
TEL : 03-5148-1007 / mail : shiina@m-mirai.co.jp (担当 : 椎名)